

人・もの・情報の**交流**が、 地域の**発展**につながります。

平成22年度 さいたま市における
コンベンション開催による年間経済効果

約 **87.6** 億円



What

コンベンションとは？

学会・大会・見本市・展示会など、何らかの目的をもって大勢の人々が各地から集まる事を総称して用いられる言葉です。

Why

なぜコンベンション誘致が必要なのか？

経済的効果として、主催者・参加者が消費する費用（運営費・飲食費・宿泊費）などが発生し、地元の経済活動が活発になります。

社会的効果として、環境整備の促進・都市のPR・イメージアップ・学術/教育面でのレベルアップなどがあげられます。

How

誘致するには？

行政・地元経済界・市民の方々と協力し、「オールさいたま」でコンベンション開催の気運醸成を図ることが必要です。



平成22年度 さいたま市におけるコンベンション開催による 年間経済効果 約 **87.6** 億円

当ビューローでは、平成22年度にさいたま市で開催された関東地方ブロック規模以上のコンベンション(スポーツ大会・コンサート等は除く)による年間経済効果を推計しました。

なお、県・市レベルのコンベンションによる経済効果も少なからず見込めますが、この調査結果には試算・算入しておりません。

平成22年度 開催件数及び参加人数

153件 154,607人

※市内主要コンベンション施設の開催実績調査の数値を使用。

×

×

参加者一人あたりの
直接経済効果額
20,079円

参加者一人あたりの
間接経済効果額
36,608円

※平成14年～22年の個別経済効果推計額の加重平均値を使用。
※この経済推計は、「日本コンgresコンベンションビューロー」作成の
「経済効果測定ハンドブック」及び「さいたま市産業連関表」等より算出。

直接的経済効果額
31億0435万3953円

開催に伴う経費と参加者個人が直接消費する
支出であり、地元地域に直接発生するものです。

間接的経済効果額
56億5985万3056円

直接的な消費支出により新たに発生した需要に
答えるため、各産業が原材料やサービスの生産活
動を行う事で生じるものです。

平成22年度 年間経済効果額合計
87億6420万7009円

※上記はあくまでも「集計」ではなく「推計」であり、結果は一つの目安として捉えるものです。

平成21年度:開催件数及び参加人数 151件 192,345人 経済効果額 約110.8億円

コンベンションは、その年度で開催する大会が変化しますので、年度毎に上下するのはやむを得ないことではあります。経済的効果・社会的効果は極めて大きく、地域の活性化に大いに有効です。

